

広
報

大洲

No.40

— おおず —

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—



4月10日(木)、大洲警察署で大洲市高齢者交通安全アドバイザーの出発式が開催されました。これからアドバイザーの2人が高齢者宅を訪問し、交通安全をよびかけます。(12ページに関連記事掲載)

5
2008

平成20年5月号

- ☆ 3月議会 P2~3
- ☆ 平成20年度当初予算 P4~5
- ☆ 市職員人事異動 P6~9
- ☆ 新「大洲市観光協会」発足 P10
- ☆ 災害情報メール配信サービス P12

発行/大洲市役所 編集/総務課
〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎ 24-2111
大洲市公式ホームページ <http://www.city.ozu.ehime.jp>

PRINTED WITH SOYINK
広報おおずは、環境に配慮し、再生紙及び大豆インキを使用しています。

選択と集中に徹して

平成20年度 基本方針

平成20年第1回大洲市議会定例会が、3月6日から25日までの20日間の会期で開かれました。
今回の議会では、平成20年度大洲市一般会計当初予算などの予算関係30件、行政財産の使用料徴収条例や後期高齢者医療に関する条例の制定などの条例関係30件、人事案件1件、指定管理者の指定などその他12件の合わせて73議案がいずれも原案のとおり可決、承認されました。また請願3件が審議されました。



平成20年度の重点施策・目標

提案説明

公平公正な

税務行政の推進

○ふるさと納税制度の活用
ふるさと納税の推進を図るための取り組みを進めま

○高齢者交通安全アドバイザーの設置
高齢者世帯を訪問し交通安全意識の高揚や交通安全指導などを行い、高齢者の交通事故防止を目指します。

○循環バスの導入
市内の公共施設や拠点などを結び、市民の皆さんに広く利用され愛される循環バスの導入を支援します。

○安全で安心できる地域づくり
昨年に引き続き学校や公民館にAED（自動体外式除細動器）を計画的に配置します。

○人事評価システムの構築
職務・職責と実績を十分に反映し得るシステムを構築し、平成22年度の導入を目指します。

健康に暮らせる

まちづくり

○保健師の集中化
保健師を集中化しスムーズな健診体制を整備し、健康増進事業の実施や疾病予防の取り組みの強化・充実を図ります。

○少子化対策
急速な少子高齢化の進行などを踏まえて妊婦健診公費負担を5回とし、妊娠・出産にかかる経済的な負担を軽減します。

○医療水準の維持
市立大洲病院では、医療サービスの向上を図ります。また市内の医療機関による救急医療体制を維持します。

安定した市民の

暮らしの確立

○暮らしを支える基幹産業
中山間地域等直接支払交付金や森林整備地域活動支援交付金事業を継続して実

施します。国営パイロットなど耕作放棄地の解消を図るため、お茶栽培を提案し実証試験を支援します。

○地産地消拠点施設整備
農産品のブランド化および地産地消拠点施設の整備による農林水産業の振興と地域の活性化に努めます。

○水産業
櫛生漁港の西一文字防波堤整備など、漁業基盤を整備します。

豊かな自然、歴史、文化を活用した魅力ある観光地づくり

○観光協会の組織の強化
合併統合した新大洲市観光協会と連携し、魅力ある観光地づくりに努めます。

○脇川でつながる広域での連携
内子・西予地域と連携して情報発信力を強化するなど、集客力を高めます。

3月定例会



施策方針

大洲市長 大森隆雄

新市の初代市長に就任して以来、引き続き厳しい財政運営の中で、将来の明るい大洲市を夢みながら「楽」の種まきに専念してきたところです。厳しい局面の中で、合併効果の一つである負担の軽減と公平化、一定サービスの維持と享受の平等化という世界には、若干時間がかかっており、むしろ一部で負担を強いるような方向にかじをきってきたのも事実です。しかしその結果、実質公債費比率の数値も目標に向けて下降線をたどりはじめており、引き続きこの状態を維持、継続できるような最大限努めていきたいと決意しています。

平成20年度は、一期仕上げの年度に当たります。ここに来て、これまでまいてきた「楽」の種が、少しずつではあります、が、ようやくその芽を出し始めたか実感できるようなになりました。その一つが図書館建設工事の着工です。生涯学習の拠点としてさまざまな年齢層の人々が集い憩う、良い意味での「たまり場」となることを念じています。

今回の予算編成は、三位一体改革による大幅な地方交付税削減ショック以来、地方自治体の財政は窮迫し、当市でも中長期的な財源不足が見込まれることになったことから、大洲市集中改革プランなどによる徹底した聖域を設けない歳出削減など、財政健全化を旨とする大きな流れの中での予算編成です。当市の将来に明るい展望が開けるよう、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努め、少子化対策など必要な事業費については配慮するなど、厳しい状況の中での選択と集中に徹し、実質的には対前年度減額となる緊縮予算です。

特別職給与、議員報酬および職員管理職手当削減を2か年延長するとともに、旅費規程の見直しを行うなど、全体的な歳出のゼロベースからの見直しや行政構造のスリム化を進め、歳入に見合った適正な財政規模となるよう引き続き、財政健全化を最優先課題として取り組んでいきたいと考えています。このような継続した取り組みにより、近い将来には柔軟性のある財政構造が構築でき、もう少し明るい展望が開けるものと確信していますので、ご理解とご協力をお願いします。

○商業の振興

中小企業振興資金の融資制度などの活用による支援を行うほか、関係機関と連携して商業振興を図ります。

○企業誘致

愛媛県東京事務所を通じて、情報収集に努めます。

快適で便利な

市民生活の実現

○治水対策

肱川の治水は、上流域での山鳥坂ダム建設および鹿野川ダム改造と、中下流域での河川改修を並行して推進し治水安全度を高める計画です。一日も早い計画実現のため、国、県に協力するとともに、水没地域の皆さんの生活再建のための計画策定や河川改修に合わせた上老松地区土地区画整理事業の推進や鹿野川地区の市道改良などに取り組みます。

○親水空間の創造

肱南地区の町並みにあった親水空間の創造を図る水と緑のネットワーク整備事業を実施します。

○公共下水道の整備

平成10年度から事業を推

進してきた肱北処理区の供

用開始に伴い、終末処理場の整備を進めるとともに、受益者負担金の円滑な執行や接続率の向上を啓発し、適切な下水道事業の経営に努めます。

災害時における

情報伝達の整備

○防災行政無線の整備

災害情報を迅速・正確に市民の皆さんに伝達することができるよう、防災行政無線の整備を図ります。

○防災情報のメール配信

さまざまな媒体を活用することが大切で、メールで情報を配信伝達します。

○消防団

小型動力ポンプ付積載車の更新を行うなど、順次消防設備、備品を更新します。

元気で安心して

学べる環境の整備

○学校の統廃合

子どもたちへの教育効果が最大限に発揮される教育環境を目指します。

○学校教育

いじめや不登校問題に対応するため、「ハートなんでも相談員設置事業」などにより、不登校の未然防止や安心して学べる環境づくりに努めます。

○新図書館

平成21年1月の開館を予定している新図書館は、さまざまな年齢層の人が気軽に集い憩うことのできる生涯学習の拠点となるよう努めます。

○スポーツの振興

旧市町村ごとの体育協会を合併統合し、市民運動会など市民総参加のできる全市民の大会や良い伝統は残しながら、総合的かつ効率的に運営し市民の健康増進を図ります。また、愛媛マンダリンパインレーツや愛媛FCと連携してスポーツを通じた地域の活性化に努めます。

◎人事案件

人事案件について、議会の同意を受けた人は、次のとおりです。(敬称略)
公平委員会委員
山本勝延【長浜】

(再任)

平成20年度当初予算

徹底した節減合理化と財源の重点的配分

一般会計 236億4,000万円 (対前年同期比6.6%増)
 特別会計 125億1,511万円 (対前年同期比31.5%減)
 企業会計 56億5,112万円 (対前年同期比4.1%増)
 総 額 418億 623万円 (対前年同期比8.9%減)

用語解説

歳入

地方交付税：国から大洲市に配られるお金（使いみちは市が決めることができます。）

市 税：皆さんから市に納められたお金
 市 債：市が借り入れたお金

歳出

民生費：主に福祉の充実のために使うお金
 公債費：市の借入金の元金・利子などの返済に使うお金
 土木費：道路や河川などの整備のために使うお金

平成20年度の予算規模

区 分		当初予算	対前年比	
一 般 会 計		236億4,000万円	6.6%	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	58億1,026万円	△7.3	
	国 民 健 康 保 険 診 療 所	7,518万円	△10.6	
	老 人 保 健	6億1,272万円	△89.8	
	後 期 高 齢 者 医 療	5億8,283万円	新設	
	介 護 保 険	介 護 保 険 勘 定	37億9,921万円	3.1
		介 護 サ ー ビ ス 勘 定	3,598万円	104.1
	簡 易 水 道 事 業	3億1,594万円	△35.4	
	港 湾 施 設 事 業	1,658万円	△1.8	
	土 地 取 得 造 成	2,864万円	△11.0	
	土 地 区 画 整 理 事 業	2億4,698万円	△2.0	
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	3,183万円	△6.5	
	農 業 集 落 排 水 事 業	4,440万円	54.5	
	公 共 下 水 道 事 業	8億7,852万円	△29.7	
	駐 車 場 事 業	2,550万円	0.3	
	温 泉 事 業	734万円	27.5	
商 業 集 積 施 設 管 理	320万円	0.0		
小 計		125億1,511万円	△31.5	
企 業 会 計	水 道	16億7,864万円	15.9	
	工 業 用 水 道	1億2,517万円	183.3	
	病 院	38億4,731万円	△2.3	
	小 計	56億5,112万円	4.1	
合 計		418億623万円	△8.9	

民生費

- 社会福祉協議会の運営費を支援します。 6,113万円
- 後期高齢者医療制度の事業主体である愛媛県後期高齢者医療広域連合が支払う医療費に対する大洲市の負担分です。 4億8,079万円
- 国保会計を支援します。 3億6,055万円
- 介護保険会計を支援します。 5億7,423万円
- 児童手当、特例給付を支給します。 3億8,796万円
- 乳幼児医療について、義務教育就学前まで助成します。 7,747万円
- 市内の保育所の運営経費です。 10億188万円

議会費

- 議員報酬や市議会の運営経費です。 2億4,838万円

総務費

- AEDを計画的に各施設に設置します。 263万円
- ふるさと納税制度創設を活用したふるさと納税の推進を図ります。 11万円
- 高齢者を対象にアドバイザーを自宅に派遣し、交通安全に対する意識の高揚を図るなど、高齢者の交通事故防止を推進します。 181万円
- 市内循環バスの導入を支援します。 1,000万円

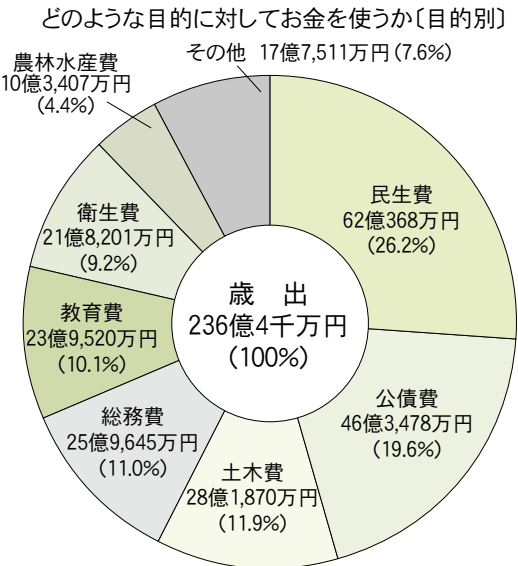
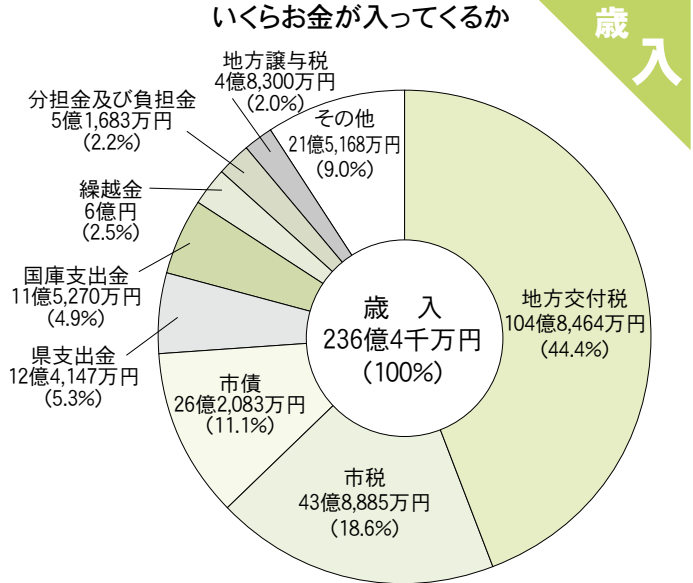
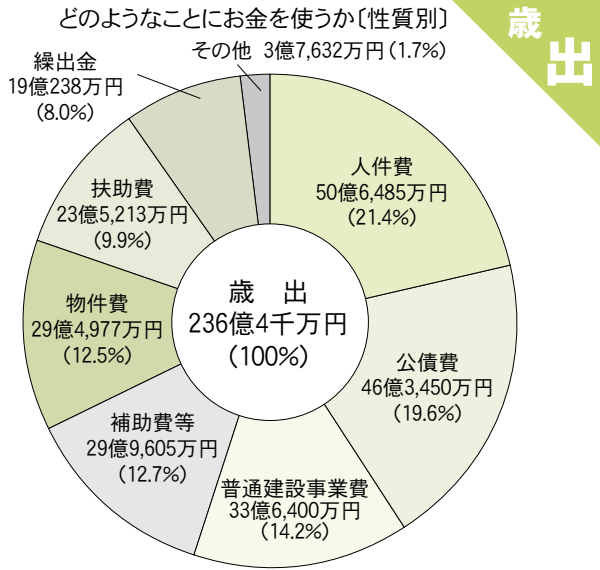
農林水産業費

- 中山間地域の農地の維持、保全などを図ります。 8,499万円
- 新谷地区と長浜町仁久地区の地籍調査を行います。 7,942万円
- シイタケ生産の振興や消費拡大を推進します。 1,479万円
- 稚魚貝を放流するなど水産業の振興を支援します。 480万円
- 櫛生漁港西一文字防波堤を整備します。 2億3,000万円

商工費

- 企業誘致を推進します。 2,642万円
- 商工団体の育成やスタンプ事業等の支援をします。 2,100万円
- 鹿鳴園や大洲城などの観光施設を管理するための経費です。 9,730万円
- 新大洲市観光協会や各種イベントへの補助金です。 2,429万円

平成20年度当初予算



大洲市総合計画による市の将来像を「きらめき創造 大洲市」の軸「流川都市」と定め、その実現のため「自然きらめくまちづくり」、「文化きらめくまちづくり」、「安心きらめくまちづくり」、「活力きらめくまちづくり」、「快適きらめくまちづくり」、「人々きらめくまちづくり」の6つの柱により、市民一人ひとりが美しく暮らし、心豊かな市民生活が営めることとしております。

このため、大洲市行政改革大綱などにより、経費全般について徹底した節減合理化を図ることとし、漫然と事業を継続することなく、事業の厳選と財源の重点的配分を行い、財政健全化を最優先としてまいります。

今年度の一般会計予算

土木費

○市道大洲徳森線を整備します。	1億円
○まちづくり交付金を活用し、鹿野川地区の振興を図ります。	6,880万円
○おはなはん通りなどに肱川からの水を導入し、新たに水路などを整備し、親水空間を設けます。	6,064万円
○城山公園を整備します。	1億4,358万円
○ふれあいパークを整備します。	1億275万円
○市営住宅の維持管理費です。	6,747万円
○市道の維持管理をします。	9,589万円
○辺地や過疎地の道路を整備します。	3億9,820万円
○市道の改良舗装および補修を行います。	8,700万円

消防費

○大洲地域の一部と長浜地域で、防災行政無線を整備します。	1億1,625万円
○消防団活動や設備などの維持のための経費です。	7,010万円
○消防施設の整備や備品の購入経費です。	1,961万円
○大洲市と内子町で構成する広域消防事務組合への負担金です。	6億5,107万円

衛生費

○ごみ処理に係る環境センターの運営費です。	4億2,202万円
○救急医療体制確保のための経費です。	2,252万円
○合併浄化槽設置を支援します。	4,196万円
○妊婦健診の充実や食育事業を推進します。	3,030万円

教育費

○小学校スクールバスを更新します。	605万円
○図書館の建設工事費や館内の備品を購入するための経費です。	6億9,312万円
○大洲市体育協会や各種スポーツ団体・イベントへの補助金です。	1,159万円
○体育関連施設を管理するための経費です。	5,224万円
○市内24公民館、19分館の管理運営費です。	3億122万円